

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 外国語

調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名： 外国語)

1. 調 査 研 究 の 経 過 及 び 内 容	<p>調査研究の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 教科書見本本を 5 委員で調査研究した。 ・ 第 1 回小委員会において、示された調査研究の観点に沿って調査した内容について、具体的にそれぞれの見本本を開きながら意見交流を行った。 ・ 現行の学習指導要領を踏まえた中で、それぞれの教科書の特徴や違いを明らかにしながら協議を行い、報告すべき事項と少数意見に分けて確認を行った。 ・ 第 2 回小委員会においては、各教科書見本本を 1～2 名でより具体的に調査研究を行った上で、北海道教育委員会の採択参考資料を参考に、「教科用図書採択参考資料」を分担して執筆し、小委員会委員長が集約・推敲したのち、委員の確認ののち、当報告書を作成した。 <p>調査研究の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「取扱内容、内容の構成・排列」では、「4 技能」（聴くこと、読むこと、話すこと[やりとり・発表]、書くこと）や「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について、学習活動がどのように取り上げられているかについて明らかにした。 ・ 「内容の構成・排列・分量等」では、題材の扱い方についての系統的、発展的な工夫について明らかにした。 ・ 「使用上の配慮等」では、児童の学習意欲を高める工夫、学習に主体的に取り組ませる工夫、使用上の便宜等、特徴的な部分を明らかにした。また、授業等における 1 人 1 台端末の活用に係る二次元コードの掲載方法の工夫についても明らかにした。 ・ 具体的な調査内容は、別紙「教科用図書採択参考資料」に教科用図書見本本ごとに記載した。
2. 調 査 研 究 の 具 体 的 資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書編修趣意書 2 北海道教育委員会採択参考資料 3 学習指導要領解説
3. 少 数 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第5学年・英語 第6学年・英語	英語・509 英語・510 英語・609	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course 6
取 扱 内 容 【 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 】、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 好きな教科や食事の注文など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～ 自己紹介や中学校でしたいことなど、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 文字の名前から音を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた小学校の思い出を伝えるメモなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 誕生日にほしいものや身近な人について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～ 行きたい国に係り、訪れたい観光地をたずねたり、そこでできることに答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 自分のことや自分の暮らす地域のよさに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて最近の出来事や世界とのつながりについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ おすすめランチセットなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動列</p> <p>第6学年～ 将来したいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、おすすめの施設をたずねることや、自分が作ったオリジナルタウンを使って好きな施設を紹介することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、飼育員さんが作ったポスターを読むことや、生き物のために身近でできることを発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～ Unit 7において、日本の場所について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って行きたい都道府県についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、観光案内CMを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ Unit 2において、日常生活について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って一日の生活を話し合う活動に取り組み、終末の活動で、「週末の過ごし方カード」を書き、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Over the Horizon (全学年)」では、学習内容やテーマをもとに、視野を広げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の学習を見通す「Your Plan」(全学年)や、テーマ別の「Check Your Steps」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、歌アニメーションや実写映像を活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 ○ 中学校との接続が意識された構成となっており、「書く活動」が随所に設けられていることで、表現力の向上につながるよう工夫されている。 ○ 豊富なデジタルコンテンツが用意されており、授業での活用はもちろんのこと、児童が家庭学習においても活用できるように構成されている。また、各ページに掲載されている二次元コードを読み取ると、当該学習内容(Unit)にリンクしすぐに活用できることから、学びやすさにもつながる工夫がなされている。 ○ すべてのUnitに「多様な文化や考え」の理解を促すよう設定された「Over the Horizon」では、国際理解に関するデジタルコンテンツも充実している。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、音声の再生や紙面の拡大表示などの機能を有している。 ○ 別冊の「My Picture Dictionary」は、学習者が復習や表現を振り返りたい時に活用できるように工夫されている。紙面はシンプルで見やすく、また、記載のない単語については「マイ単語」として新たな単語を書き加えたり、デジタル教科書に保存したりすることが可能となっており、学習者の使いやすさを考えたつくりになっている。 ○ 総ページ数が96ページと少なく、軽量である。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第5学年・英語	英語・511	Junior Sunshine 5
		第6学年・英語	英語・512 英語・611 英語・612	Junior Sunshine 5 Word Book Junior Sunshine 6 Junior Sunshine 6 Word Book
取扱内容【学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等】、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 好きなものや町にある場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～ 自己紹介やつきたい職業など、身近で簡単な事柄について、短い会話等イラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 音声で慣れ親しんだ英語を文字で結び付けることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた旅行会社のウェブページなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと【やり取り】」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 好きな教科や身近な人のできることについて互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～ 行きたい国に係り、そこでしたいことをたずねたり、「行きたい国クイズ」に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと【発表】」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 自分ができること、できないことや、自分の注文したいものに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みの思い出や中学校でしたいことについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 自分の特別な日など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す</p> <p>第6学年～ 小学校生活の一番の思い出など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、お気に入りの場所をたずねることや、自分が作ったマイタウンのお気に入りの場所を紹介することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、日常生活での行動について聞くことや、理想の日曜日のスケジュールについて伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～ Lesson 8において、様々な動作の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って自分のヒーローについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、「ヒーロー図鑑」を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ Lesson 6において、学校行事の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校生活の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活の思い出を発表し、思い出アルバムを作る活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Story Time」(全学年)では、これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 1年間の学習を見通す導入ページ(全学年)や、巻末の「CAN-DO チェック」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、音声やクイズを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 ○ 全ての単元において、目標が明確に設定されている。また、その目標に向かうための学習過程が4つ設けられており、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 他教科との関連が提示されているなど、単元を通してカリキュラムマネジメントを意識した指導を行うことができるような工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、本文の読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。 ○ 二次元コード内の動画では、再生速度の変更が可能となっており、児童の実態に応じて聞き取りやすい速度で学習することができるよう工夫されている。 ○ 別冊「Word Book」が各学年で用意され、小・中学校で使う語には★マークが記載されている他、第6学年においては、中学校との接続に配慮した内容となっている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	15・三省堂	第5学年・英語 第6学年・英語	英語・513 英語・514 英語・613	CROWN Jr.5 CROWN Jr. MyDictionary CROWN Jr.6
<p>取扱内容【学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等】、内容の構成・排列</p>	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 誕生日や行きたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～ 好きなスポーツや職業など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 文字と音のつながりを学ぶことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた6年生の思い出などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 好きな教科や地域の魅力について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～ 夏休みに係り、行った場所をたずねたり、楽しんだことに答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 得意なことや自分たちの地域に関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて修学旅行や校外学習の思い出や将来つきたい職業について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ ふだん日曜日にするなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動</p> <p>第6学年～ 希望の職業についたらしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国をたずねることや、パノラマを見ながら、行きたい場所とそこでしたいことを伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、中学校で力を入れたい教科や入りたい部活動について聞くことや、どんな中学校生活を送りたいか伝え合うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～ Lesson 5において、人物紹介について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人を紹介して、その人の素晴らしさを知ってもらう活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ Lesson 5において、小学校の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校で一番の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活を振り返って、みんなで思い出を共有する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit のゴールを明確にした上で、1つの Unit を「HOP」「STEP」「JUMP」で構成し、児童が Unit 全体の学習を見通しながら、学びの段階を意識して主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 「ABC Fun Box」では、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を扱い、読むことや書くことの活動が積み重なるよう工夫されている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、モデル動画や音声を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 各単元において、二次元コードを掲載しており、音声の再生では音声に合わせて英文がハイライトされるので、聞く・読む活動を結び付けて行うことが可能である。 ○ 「Hello,World」では、世界のスポーツ・まつり・仕事等を掲載しており、児童が関心を持って世界の人々の暮らしや日本との違いを学ぶことができるようになっている。 ○ 巻末に配置されているカードは、「書くこと」や「話すこと [やりとり]」などの活動で活用できるようになっている。学習で使用したカードは、評価の資料とすることが可能である。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、機械読み上げ音声や紙面の拡大表示などの機能を有している。 ○ 別冊「My Dictionary」については、テーマ別の Word の他に、「5・6年生で学んだ表現」や「教室で使う英語」、「Can・Do リスト」が掲載されている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第5学年・英語 第6学年・英語	英語・515 英語・615	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6
取扱内容 【学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等】、 内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 時間割や行きたい場所など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～ つきたい職業や中学校の行事など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 日本語と英語の音の違いに気付かせることを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたクラスの「思い出アルバム」などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 夢の授業や行ってみたい都道府県について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～ 夏休みに係り、絵日記の内容をたずねたり、伝えたい出来事に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 家での習慣や自分ができることに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて夏休みにしたことや将来の夢について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 地図記号ガイドなど、音声で十分に慣れ親しんだ語句を書き写す活動</p> <p>第6学年～ 中学校でしたいことなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、ほしいものをたずねることや、自分で作ったオリジナル・メニューを使ってレストランのロールプレイをすることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、行きたい国や地域とそこでできることをたずね合うことや、夢の世界旅行を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～ Lesson 9において、人物紹介について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って得意なことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ Lesson 3において、日本の食べ物について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本の文化を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事や文化を紹介するポスターをかき、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Think」(全学年)では、話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学びの見通しが立てやすいロードマップ(全学年)や、各単元の「Lessonをふりかえろう」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 ○ 二次元コードがLessonごと掲載されており、歌やチャンツ、単元のゴールイメージ等を児童が容易に振り返ることができるよう工夫されている。 ○ 6学年のLesson終末の「Final activity」では、巻末の「Word Bank」やワークシートを十分に活用し、表現活動が充実するように構成されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、音声の再生や紙面の拡大表示などの機能を有している。 ○ 巻末の「My Word Bank」には、自分が必要な単語について書き込めるよう工夫している。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第5学年・英語 第6学年・英語	英語・516 英語・616	Here We Go! 5 Here We Go! 6
取扱内容【学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等】、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 誕生日にほしいものや憧れの人など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～ 1日の生活や思い出の学校行事など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 大文字と小文字を見て文字の名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた夢宣言などを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 好きな教科とその理由やオリジナル料理について互いに紹介するなど、自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～ 行きたい国に係り、その理由をたずねたり、その国の魅力に答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 友だちができることや自分の憧れの人に関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて自己紹介や動物が食べるものについて、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 町の魅力を伝えるパンフレットなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動</p> <p>第6学年～ 自分の夢宣言など、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定しお気に入りの場所をたずねることや自分が作ったパンフレットを使って町の魅力を伝えることなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し夏休みにしたことや自分が書いた絵日記を使って夏休みの思い出を発表することなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～ Unit 6において、店や施設について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後学んだ表現を使って道案内についてやり取りする活動に取り組み終末の活動で、理想の町について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ Unit 2において、日本の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事やその時にできることを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p style="text-align: center;">使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標を明確に示した上で、教科書全体を3つのパートに分け、2～3のUnitをまとめて大きなテーマを設定しており、1つのUnitで慣れ親しんだ表現を使って段階的に学習を進めていけるように工夫されている。 ○ Unitの最初にゴールを示すとともに、具体的な活動を示しているので、児童が主体的に学習を進めることができる。また、「About you」を設けてUnitの話題を自分のこととして引き付ける工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり（全学年）、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載し、アニメーションや音声を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 各単元において掲載されている二次元コードから利用可能なデジタルコンテンツは学習の流れがわかりやすい工夫がなされているため、児童が家庭学習等でも効果的に活用することが可能である。 ○ まとめ「世界の友達」では、世界各国の小学生の考え方や暮らし方に触れることで、文化の多様性や日本との共通点を見出すことが可能となっている。 ○ 巻末の「ALL ABOUT ME」を活用し、学んだ表現を書き入れることができるようになっているので、1年間の学びの記録として自分の成長を振り返り、次の学年（中学校）において自己紹介に活用することができるようになっている。
<p style="text-align: center;">その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、機械音声の読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。 ○ 各学年の「Picture Dictionary」は、教科書から取り外して別冊としても使用することができる。また、Wordだけでなく、「教室で使う英語」や「外国語活動で学んだ表現」等も掲載されており、「話すこと [やりとり]」の活動に活用することができる。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	61・啓林館	第5学年・英語 第6学年・英語	英語・517 英語・617	Blue Sky elementary5 Blue Sky elementary6
取扱内容【学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等】、内容の構成・排列	<p>○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 誕生日にほしいものや行ってみたい国など、身近で簡単な事柄について、基本的な表現等を聞いて、理解した内容とイラスト等を結び付ける活動</p> <p>第6学年～ 好きなものや行ってみたい部活動など、身近で簡単な事柄について、短い会話等をイラストなどを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動</p> <p>○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ アルファベットのの名前を読むことを通して、活字体で書かれた文字の読み方を適切に発音する活動</p> <p>第6学年～ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた将来の夢を伝える吹き出しのセリフなどを読んで、その意味を捉える活動</p> <p>○ 「話すこと [やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 食べたいものや自分の家までの最短ルートについて互いに紹介するなど自分の考えや気持ちを伝え合う活動</p> <p>第6学年～ 自分の住む地域に係り、必要だと思うものをたずねたり、その理由を答えたりするなど、短い会話をする活動</p> <p>○ 「話すこと [発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 日本の食べ物やアニメのキャラクターに関することなど、身近で簡単な事柄を話す活動</p> <p>第6学年～ 簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の憧れている人や小学校の思い出について、自分の考えや気持ちを話す活動</p> <p>○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 友だちができることなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動や、自分が行きたい国を正しく書き写す活動</p> <p>第6学年～ 印象に残ったできごとなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例を参考にして書く活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第5学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、行ってみたい国をたずねることや、一緒に行きたい国の魅力を伝えて友だちを誘うことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第6学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、中学校で行ってみたいことをたずねることや、中学校を紹介してくれた人にお礼の手紙を書くことなどを組み合わせることにより、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第5学年～ Unit 3において、1日の生活について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って家での仕事についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、放課後の過ごし方について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ Unit 2において、季節ごとの日本の楽しみについて聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本で楽しめるものを紹介し合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各ユニットが7時間扱いとなっており、発展的な活動等を設定するなどの工夫が可能である。 ○ 見通しをもって学習が進められる Unit 全体の GOAL (全学年) や、巻末の「Can-Do List」(全学年) を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり (全学年)、識別しやすい配色を用いたり (全学年) している。 ○ 各単元の各活動に二次元コードを掲載しており、1人1台端末を活用した学習活動、とりわけ話す (やりとり・発表) 活動を中心に、イメージをもって取り組める工夫がされている他、「ヒント」の二次元コードにおいては、様々な単語や連語を選択するだけで英文が完成するサイトになっており、児童が、自分の思いをやりとりしたり発表したりする際に活用できだけでなく、家庭学習としての活用も可能となっている。 ○ 多様な文化や考えを理解し、他者への配慮を行えるよう異文化理解を促す工夫がされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書では、紙面の読み上げや紙面の拡大表示などの機能を有している。